

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

2023年9月15日

和泉市長 へ

団体名 のぞみ野街づくり推進委員会

代表者名 宮本英昭

所在地 和泉市のぞみ野一丁目3番37号

電話番号 0725(55)1932

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	のぞみ野夏まつり2024（第20回）
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	2,790,000 円 (うち、対象経費 2,240,000 円)
支援金 交付申請額	800,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。



事業計画書

1 事業名	のぞみ野夏まつり2024（第20回）	
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース	
3 事業の必要性（※別紙添付可）		
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等		
和泉市全体の市民まつりが開催されなくなり、住宅地の多い周辺地域において、地域住民の交流が、少なくなっている。		
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果		
地域住民の年齢差を超えた交流を図り、お互いへの思いやりや絆を深め「この街が故郷（ふるさと）やねん！」といえるような街づくりを目指します。  4年ぶりの実施となったR5年度開催では、多くの子供達、家族連れだけでなくコロナ禍で外出を控えていたご高齢の方たちもたくさん来ていただきました。真夏の日差しの中、日陰で休憩できる場所や座って舞台を観覧できる箇所をもう少し用意できればと次年度に向け考慮中です。		
4 事業内容（※別紙添付可）		
① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 模擬店は、地域広報・マンション管理組合等の掲示板に出店を募り 子ども会・老人会・各種サークル等から様々な店舗が並びます。</li> <li>・ 舞台演目は、20回記念として筒花火、ダンスパフォーマンスから吹奏楽・チアリーディング、鼓聖泉、大道芸、阿波踊りと、どんな年齢層の人も楽しめる内容を計画し、毎年災害により被災された方々を支援する募金集めに地域が一体となり、取り組んでいます。</li> </ul>		
② 実施期間（日時）	2024年7月27日(土)	
③ 実施場所	桃山学院大学（予定）	
④ 主な対象者	小さな子どもからお年寄りまで（緑ヶ丘校区及び近隣校区）	
⑤ 参加予定者数	4,000人	
⑥ 告知方法	和泉市広報、地域チラシ配布、ポスター掲示、ホームページ掲載	
5 事業スケジュール		
時期（月）	4月	推進委員会総会（実行委員会1回開催予定、のぞみ野夏まつり実行委員会立ち上げ）
	5月～7月	実行委員会4～6回開催予定
	7月27日	のぞみ野夏まつり2024実施
	7月28日	実行委員と模擬店出店者による会場清掃
	8月	反省会開催予定

6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2 審査基準参照 (実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	<p>① 和泉市民まつりがなくなったことをきっかけに、過去16回開催されました。毎年、多くの老若男女が参加され、『まつり』に対するアンケートの結果も好評で共感を得られています。</p> <p>② 舞台の催しや模擬店は、子ども会、老人会、地域サークルなどから参加者を募り、多様な市民の発表の場となっています。文化の振興を図ると同時に、子ども達の健全な成長を促進する活動としても貴重な役割を果たしています。</p> <p>③ 地域住民の交流が薄れつつある現在、『まつり』を実施することでご近所の方々と顔を合わせ、地域のつながりを一層深めることができます。また、【離れていても心は一つ】という合い言葉のもと、東日本大震災をはじめとする被災地への募金活動を年々継続しています。</p>
② 継続性	<p>④ 『まつり』の来場者数や、運営に関わるボランティアの人数(桃山大学生など)は、年々増加の傾向にあり、継続的に行われています。</p> <p>⑤ 『まつり』を通じて文化の振興や子どもの健全育成を図ることはもとより、絆を深めることで、災害時においても助け合える地域作りにも広く影響を及ぼすと考えています。</p> <p>⑥ 地域の企業や地元の店舗から協賛をいただいています。</p>
③ 実行性	<p>⑦ 過去16回開催した実績があり、毎年複数回、会議を行いさらなる発展を目指しています。</p> <p>⑧ 運営、警備、舞台、模擬店等と組織を編成しています。過去、トラブルは発生していません。</p> <p>⑨ 経費が270万円程かかり、地元からの協賛金等だけではやっていけないため、申請させていただいています。</p> <p>⑩ 長年の経験者と新人スタッフが協力し、組織体制は安定しています。例年、非常時に備え救護班を設置し、医師(やよいクリニック様)にも常駐していただいています。</p>
④ 協働性	<p>⑪ のぞみ野地域を主体とした『まつり』ではありますが、ダンスイベントでは和泉市各地のサークルから広く募集し、模擬店では出店者募集後に会議を行い準備し、参画協力を得ています。</p> <p>⑫ 『まつり』をきっかけにして、顔見知りの方が増え、交友が広がり、様々な相互連携が期待できます。</p> <p>⑬ 舞台演目では、年齢に関係なく皆さんが一緒になって踊る「阿波踊り」や、模擬店でも様々な世代や地域の方々との交流が見られます。</p>
⑤ 公開性	<p>⑭ のぞみ野周辺地域へはチラシを配布し、その他地域へは、ホームページで情報を発信しています。また、市の広報にも掲載をお願いしています。</p> <p>⑮ ホームページでは『まつり』の雰囲気や伝わる写真を多く掲載しています。</p>
⑥ 発展性 (先駆性・展開性) (集客性)	<p>⑯ 『まつり』への参加者は、年々子ども達が増えています。初回からアルコールの持ち込みを禁止しています。また、模擬店・トイレの位置が分かるよう見取り図をホームページへ掲載し会場内にも看板を設置しています。</p> <p>会場内警備は、スタッフ警備員に加え、プロ警備員も各所に配置するなどの改善を重ねてきました。</p> <p>参加者の方々の意見に耳を傾けつつ、皆さまが安心して楽しめ、「来年も参加したい」と思えるような、みんなに愛される『まつり』となるため、努力を続けていきます。</p> <p>第20回記念では、静岡県『三ヶ日手筒花火』を盛大に打ち上げます。</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称： のぞみ野夏まつり2024（第20回）

## 1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	800,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	490,000 1,300,000	地域自治会・マンション管理組合協賛金 地域企業協賛金
自主財源	200,000	のぞみ野街づくり推進委員会
合 計	2,790,000	

## 2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
＜対象内経費＞		
報償費	800,000	出演者御礼(第19回出演者+筒花火)
旅費	30,000	交通費・ガソリン代
消耗品費	100,000	掲示用ラミネート紙・模造紙・封筒・コロナ対策費等
食料費	170,000	出演者弁当代 @1000×150名=150,000 スタッフ作業時飲料代@200×100名=20,000
印刷製本費	100,000	チラシ2,000枚 A3 両面フルカラー
役務費	40,000	切手代・振込手数料
委託料	1,000,000	舞台・テント・電気設備設営費用・警備費・ゴミ収集代
対象経費計	2,240,000	
＜対象外経費＞		
食料費	70,000	当日スタッフ弁当代 100名
役務費	30,000	会議関係通信費、使用料(自治会館+桃大電気代)
抽選会景品代	150,000	電化製品・商品券・文具セット等
お祭り券換金代	150,000	参加者へのお買い物券@100
雑費	150,000	スタッフユニフォーム・HP管理・飲食を伴う会議費・その他
対象外経費計	550,000	
合 計	2,790,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

## 事業計画書 追加資料

1 団体名	のぞみ野街づくり推進委員会
2 事業名	のぞみ野夏まつり2024（第20回）
3 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
4	令和5年度事業における反省点・課題・問題点とそれをどのように改善するかについて記入してください。  前回までの担当スタッフが、4年ぶりで参加できない状況や、桃大の場所の承認がなかなかおりなかったことなどで、準備にはかなりの手間暇がかかりましたが、今回は文書を開催後すぐに保存し、開始時期を3月ごろから前倒しし、スタッフの人数も増やして、準備を進めていきたいと考えております。 ゴミ箱の管理や、模擬店周りの行列や人の流れなど、今年の反省から生じた問題について、会議を通じてより良い対策を講じる予定です。また、年々暑さが厳しくなっているため、これまで以上に熱中症対策などを考慮する必要があります。
5	令和6年度事業において以下のことについて記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たに取り組む事項</li> <li>・ 令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項</li> <li>・ その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に变化がある事項 等</li> </ul>
	20回目を迎える記念のイベントとして、手筒花火を検討しています。また、昨年の成功からも参加者が増えることが予想されます。本来の目的である地域住民の年齢差を超えた交流を期待しています。

※本資料に記載いただいた内容を含め審査を行います。